

平成30年度 都立学校・学校経営シート

校章	 都立稔ヶ丘高等学校 定時制課程		進路	実績	22%	短期大学	7%	専門学校	30%	就職	12%	その他	29%
	「勁い心、自立した未来」 ー落ち着いた生徒、力を伸ばす環境ー		特徴	学び直しから大学受験まで、多様な生徒たちの学習ニーズに応えます。									
基本情報	所在地	〒165-0031 中野区上鷲宮五丁目11番1号	電話番号	03-3990-4226									
	アクセス	(1) 西武新宿線下井草駅下車、北口徒歩7分 (2) 西武池袋線富士見台駅下車、南口15分 (3)											
本学情報	学科	三部制、総合学科(チャレンジスクール)											
	在籍生徒数	1年次208名(男子92名、女子116名)、2年次207名(男子104名、女子103名)、3年次197名(男子115名、女子82名)、4年次128名(男子66名、女子62名) 総計740名											
報	教育課程の特徴	単位制なので留年がない、3学期制、1日45分12時間(4時間×3部)授業、全教科少人数授業、1年次～3年次は1クラス15人～22人編成											
	ホームページ	http://www.minorigaoka-h.metro.tokyo.jp	自律経営推進予算 30年度(単位:万円)	2854万円									
募集人員	募集人員	合計240名:1次募集(230名)、9月募集(10名) I部(90名)、II部(90名)、III部(60名)											
	本学情報	応倍	募集率	分割前期	1部～3部	募集区分	28年度	29年度	30年度	1学年相当	1.49	1.68	1.76
その他	その他	校 服	有										
	その他	女子:スラックス可	分割後期	1部～3部	1学年相当								
その他	その他	チャレンジスクールであり、調査書は使用しない、学力検査も行わない。 志願申告書(150点)、作文(500点)、面接(600点)の総合点で判定する。											
その他	その他	みのり杯(6月)、稔祭(9月)、修学旅行・進路体験旅行(10月)、学習成果発表会(3月)											

目指す学校 **キャリア教育の継続的な推進により、生徒の「社会的な自立」を実現し、社会で「勁く」生きていける力を育成する学校**

今年度の重点目標		今年度の取組と自己評価														
目標①	①教育活動の充実と学力向上の推進 ・アクティブ・ラーニングの視点に立った授業の工夫・改善を推進し、生徒の深い学びや主体的な学習を促す。 ・土日や長期休業日にみのりゼミや検定対策講座などを開講し、多様な学習を提供する。また勉強合宿を継続する。 ・授業出席率80%を達成する。	・グランドデザイン(セルフコントロール、クリティカルシンキング、チームワーク)を策定するとともに、生徒に授業で「何を教えるか」から「何を考えさせるか」をテーマに、学校をあげて授業の工夫・改善をはかることができた。 ・校外で実施する社会体験実習を16講座開講するとともに、夏季休業日中に勉強合宿を実施した。 ・ワンランク上の学習を目指す「みのりゼミ」を7講座開講するとともに、検定対策講座を43講座実施した。 ・英語の授業ではオンライン英会話を試行するとともに、TGGを活用した。またアジア各国の留学生を講師に招いたEnglish One Day Campを校内で2回実施した。こうした結果、授業出席率80%を達成することができた。														
目標②	②キャリア教育・広報活動の充実 ・上級学校訪問やインターンシップを通じて、進路意識の向上を図る。 ・進路決定率80%以上を達成する。 ・ボランティア活動を通じて社会性やコミュニケーション能力を定着させる。	・1年次から上級学校訪問を励行し、卒業後の進路について関心や進学意識を高めさせることができた。 ・今年度は、私立大学の定員厳格化により志望校に合格できず、大学浪人を選択する生徒が非常に増えたことから、進路決定率は69%に留まってしまった。 ・体育祭や文化祭などの学校行事が年々盛んになるとともに、部活動加入率が前年の35%から45%に向上した。また部活動合宿の実施が、1部から3部に増えた。 ・広報紙「みのりジャーナル」やHPの「Minor Weekly」が中学生や保護者から大変好評である。														
目標③	③教育相談活動の充実 ・自立支援チームと連携して、生徒の登校と進路決定を支援する。 ・カウンセリング委員会や情報交換会を充実させ相談体制を機能化する。 ・特別活動の活性化や生徒間のピアサポートを通じて、多様な生徒の居場所づくりを実現する。	・自立支援チームを介した関係機関との連携が軌道に乗り、登校が難しくなったり進路が決まらなかったりする生徒への入念な指導をケアができるようになった。 ・自立支援チームの導入により校内の相談体制が機能化し、ケアが必要な生徒に関する情報を学校全体で共有し、タイムリーで効果的な指導が可能になった。 ・学校行事や部活動の活性化により、生徒の授業出席率が大きく向上した。一方で、家庭に引きこもる生徒に通信制高校などへの転学を励行したところ、中退率が予想外に跳ね上がってしまった。														
数値目標	今年度の数値目標の内容					27年度		28年度		29年度		今年度		31年度	32年度	33年度
						目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	目標	目標
	目標①	中途退学率(含む 転学)	5%			5	7.3	5	8.7	5	8.9	5	10.3	3	3	3
	目標②	卒業時の進路決定率	80%	(3年修了生徒 + 4・5・6年修了生徒)			80	68	80	81	80	72	80	69	85	85
目標③	年間平均出席率	75%	／ (在籍生徒の70%が小・中で不登校を経験)			75	70	75	72	75	74	75	80	80	80	80

一番新しいチャレンジスクール

アクティブラーニング推進校
ボランティア推進校
パワーアップハイスクール



みのりがおか

東京都立 稔ヶ丘 高等学校

「強い心」を育てます

- ・授業第一優先
- ・自他のチャレンジを尊重
- ・徹底した生活指導

